

| | | | | | | |
|---|--|-------|----------------|---------------|----------|----|
| 授 業 科 目 名 | 教育の方法と技術 | 教 員 名 | 渡邊 耕二 坂倉 真衣 | 免許・資格 との関係 | 小学校教諭 | 必修 |
| | | | | | 幼稚園教諭 | 必修 |
| 授 業 形 態 | 講義 | 担当形態 | 複数 | | 保育士 | |
| 科 目 番 号 | SID207 | 配当年次 | 2年後期 | 卒 業 要 件 | こども音楽療育士 | |
| 単 位 数 | 2単位 | | | | 小幼コース | 必修 |
| 科 目 | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目（幼稚園） | | | | | |
| 施 行 規 則 に 定 め る 科 目 区 分 又 は 事 項 等 | 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） | | | | | |
| 一 般 目 標 | <p>全体目標： 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）では、これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。</p> <p>(1)教育の方法論 これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解する。</p> <p>(2)教育の技術 教育の目的に適した指導技術を理解し、身に付ける。</p> <p>(3)情報機器及び教材の活用 情報機器を活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身に付ける。</p> | | | | | |
| 到 達 目 標 | <p>(1)教育の方法論</p> <p>1)教育方法の基礎的理論と実践を理解している。</p> <p>2)これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するための教育方法の在り方（主体的・対話的で深い学びの実現など）を理解している。</p> <p>3)学級・児童及び生徒・教員・教室・教材など授業・保育を構成する基礎的な要件を理解している。</p> <p>4)学習評価の基礎的な考え方を理解している。</p> <p>※幼稚園教諭は「育みたい資質・能力と幼児理解に基づいた評価の基礎的な考え方を理解している。」</p> <p>(2)教育の技術</p> <p>1)話法・板書など、授業・保育を行う上での基礎的な技術を身に付けている。</p> <p>2)基礎的な学習指導理論を踏まえて、目標・内容、教材・教具、授業・保育展開、学習形態、評価規準等の視点を含めた学習指導案を作成することができる。</p> <p>(3)情報機器及び教材の活用</p> <p>1)子供たちの興味・関心を高めたり課題を明確につかませたり学習内容を的確にまとめさせたりするために、情報機器を活用して効果的に教材等を作成・提示することができる。</p> <p>※幼稚園教諭は「子供たちの興味・関心を高めたり学習内容をふりかえったりするために、幼児の体験との関連を考慮しながら情報機器を活用して効果的に教材等を作成・提示することができる。</p> <p>2)子供たちの情報活用能力(情報モラルを含む)を育成するための指導法を理解している。</p> | | | | | |
| ディプロマ・ポリシーとの関係 | 本講義は、学科のディプロマ・ポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている、6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。 | | | | | |
| 授 業 の 概 要 | 今日学校教育においては、児童の発達段階や個性に応じた様々な教育の方法及び技術が求められる。また、情報機器を活用した効果的な授業を行い、情報活用能力を育成するため、電子黒板などのICT機器の活用方法及び技術を習得することが重要である。 | | | | | |

| | |
|---------|---|
| | <p>本講義では、教育目標に向かって子どもの成長発達を促すための授業構成と学習構成の理論的な理解、そして具体的な教育の方法・技術について学習する。そして、子どもの学びを促進する授業・学習の理論的理解と教育の方法と技術を習得する。さらに講義の終盤では、学習指導案の作成やテストの作成・運用を通して、授業の目標、内容、指導、評価に関する理論的知識の習得とともに、望ましい教育方法の在り方を研究する。授業形態は講義とする。</p> |
| 授 業 計 画 | <p>第1回：児童生徒の学びを支える指導 授業作りでは、目標の設定、発問や板書、評価、学習活動など、様々な指導の方法と技術が必要であることを理解する。（目標（1）-1、（1）-2）</p> <p>第2回：学力の分類と指導1 学力の要素を「学んだ力」と「学ぶ力」と分類した上で、学んだ力として「知識」と「理解」について理解する。（目標（1）-2）</p> <p>第3回：学力の分類と指導2 学力の要素を「学んだ力」と「学ぶ力」と分類し上で、学ぶ力として「メタ認知」について理解し、学力を育てる授業のあり方を把握する。（目標（1）-2）</p> <p>第4回：教室文化と学習規律 個々の教室には独自の雰囲気があり、子ども同士とともに学びあう規律のあるクラスがどのように形成されるかについて把握し、授業作りにおける学習規律の重要性を理解する。（目標（1）-3、（2）-1）</p> <p>第5回：授業における教授方法1 学習者自身が探求することを通じて推論していく「発見学習」について把握し、それと自己調整学習との関係を理解する。（目標（1）-2、（1）-3）</p> <p>第6回：授業における教授方法2 教師が説明を提供する学習を意味する「受容学習」について把握し、それと自己調整学習との関係及びプログラム学習について理解する。（目標（1）-2、（1）-3）</p> <p>第7回：授業における指導の技術1 授業が「わかる」という状態を理論的に把握し、説明する技術として「話す」ことについて理解する。（目標（2）-1）</p> <p>第8回：授業における指導の技術2 授業が「わかる」という状態を理論的に把握し、発問とその技術及び授業外での学習を促す技術について理解する。（目標（2）-1）</p> <p>第9回：ICTを用いた指導方法1 ICTを用いた指導や情報活用能力を育成する指導の必要性を把握し、ICT活用が子どもの知識の習得や理解の深化にどのような効果を持つかを理解する。（目標（2）-1、（3）-1、（3）-2）</p> <p>第10回：ICTを用いた指導方法2 電子黒板や書画カメラを用いた授業実践及び特別な支援が必要な子ども（例えば、発達障害など）にICTの活用がどのように機能するかについて理解する。（目標（2）-1、（3）-1、（3）-2）</p> <p>第11回：教育における評価と学習1 教育評価の意義と指導と評価の一体化について把握し、3つの評価基準（相対評価、絶対評価、個人内評価）とそれらの長所と短所を理解する。（目標（1）-1、（1）-4）</p> <p>第12回：教育における評価と学習2 評価の主体（他者評価、自己評価、相互評価）と評価の時期（診断的評価、形成的評価、総括的評価）について把握し、新しい評価の考え方と方法（例えば、パフォーマンス評価など）を理解する。（目標（1）-1、（1）-4）</p> <p>第13回：学習指導案の作成 目標・内容、教材・教具、授業・保育展開、学習形態、評価規準などの視点を具体的に設定し、学習指導案を作成する（目標（2）-2）</p> <p>第14回：テストの作成と運用1 テストの役割とテストが持つ性質について、妥当性及び信頼性及び採点のバイアスという視点から</p> |

| | |
|-------------|--|
| | <p>理解する。(目標 (1) -1、(1) -4)</p> <p>第15回：テストの作成と運用2</p> <p>テストの実施が子どもに与える影響を動機付け及び学習方略の視点から把握し、テストの結果をフィードバックすることの重要性について理解する。(目標 (1) -1、(1) -4)</p> <p>期末試験：試験期間中に実施する。</p> |
| 学生に対する評価 | <p>期末試験 (60%)、レポート (40%) を総合して評価する。</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。 ・答案例を配布する。 |
| 時間外の学習について | <p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <p>講義内容に関するレポートなどを課すので、解答して正解を確認した上でファイルし、振り返りの参考とすること。</p> |
| テキスト | <p>幼保コース『幼児教育の指導法』師岡章著(放送大学教育)</p> <p>小幼コース『情報社会を支える教師になるための教育の方法と技術』堀田龍也・佐藤和紀編著(三省堂)</p> |
| 参考書・参考資料等 | <p>参考書：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職課程研究会、山下省蔵編著 教職必修 教育の方法と技術 実教出版 ・平沢茂編著 教育の方法と技術 図書文化社 ・柴田義松編著 教育の方法と技術 学文社 <p>参考資料等：文部科学省 資料：学習評価・指導要録 関係報告・通知</p> <p>『幼稚園教育要領 (最新版)』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 (最新版)』</p> <p>『小学校学習指導要領 (最新版)』、『小学校学習指導要領 (最新版) 解説』</p> |
| 担当者からのメッセージ | <p>学校教育では、子どもの学びの成果である学力に関する議論や、それを育てる授業作りにおいて不可欠なことが多くあります。それらに関連付けて一つ一つ理解し、実践に活かせるようにする必要があります。授業の内容がどのように関連付くのかを整理し、理解が及ばなかったことは、オフィスアワーの時間を活用して、必ず理解するように努めてください。</p> |
| オフィスアワー | <p>渡邊：金曜日 9：00～12：00</p> <p>坂倉：火曜日 3・4限</p> |